

## 学域, 学類の教育研究上の目的

学域・学類	目 的
人間社会学域	人間及び人間社会に関する普遍的真理の探求とともに、激変する複雑な社会状況の下で、人間及び人間社会が直面する諸問題の解決に貢献寄与するための教育を行い、社会に貢献しうる自発的な課題探求能力や解決能力を持ち、かつ多文化共生時代にふさわしい理解力と判断力を持った個性的な人材を養成することを目的とする。
人文学類	少人数による学生参加型の授業科目を学修の中心に置き、文献読解、実験、調査、フィールドワークなどを通して自発的に課題を発見し、その解決方法を身につけ、広範な人間の行動・思考・創造及びその蓄積としての思想・歴史・文化・言語等を深く理解した、総合的・学際的視野を持つ人材を養成することを目的とする。
法学類	現実の社会に潜む法的・政策的課題に対応できる能力を育成するためのカリキュラムを設定し、少人数教育の導入によって、多様な形での討論を通して法律学、政治学に関する専門的な知識を修得するため、現代社会の規範とその適用及び公共的課題への取組みに関する総合的な判断力を身につける教育を行い、現代社会に対して幅広い関心を持ち、よりよい社会実現のために法的思考によって問題の解決策を導き出し、自発的かつ意欲的に課題発見に挑み、その探求と解決に必要な能力を備えた人材を養成することを目的とする。
経済学類	高度な情報処理能力、調査研究能力及び政策分析・立案能力を身につけるため、少人数でのゼミナール、フィールドワーク及びケース・スタディを重視した実践的な教育を行い、現代社会において各地域で起きている様々な問題を、経済理論と経済政策、経営学・情報科学及び世界各地の経済と社会の比較考察という3つの側面から捉え、現代の様々な問題に的確かつ迅速に対処することができる専門的知識を持った人材を養成することを目的とする。
学校教育学類	教科等に関する専門的な知識や技能、それらを教授する能力、子どもとコミュニケーションする能力、子ども間での討議・討論及び自主的・自活的活動を援助する能力を重視し、教師としての使命感、教育的愛情、教育観、子ども観及び専門的な諸能力を身につける教育を行い、グローバルな視野に立って考えながら、ローカルな個別、具体的問題解決に向かって行動する義務教育段階の諸学校の教師を組織的及び計

	画的に養成することを目的とする。
地域創造学類	総合性と専門性を修得できる教育や、少人数の演習・調査実習・体験実習などを取り入れ、問題解決のための実践的なスキルを修得する教育を行い、それぞれの地域が持つ自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係等を総合的に活用し、自治を活かした地域固有のスタイルで住民の健康や福祉、文化、スポーツ、産業及び環境を発展させ、質の高い個性ある地域生活を計画、設計及び政策立案し、地域づくりのリーダーとして活動できる能力を持つ人材を養成することを目的とする。
国際学類	国際社会と日本社会に関する基礎知識を修得し、諸地域の実態を踏まえた国際関係のマクロ的理解及び個々の地域に関する実践的知識を修得する専門教育を展開する。仕事で使える英語と日本語教育のための日本語を含む各地域の言語の高いレベルでの修得を目指す教育を行い、21世紀のグローバル化が進んだ社会の本質を理解し、異文化を持つ他者とのしなやかな共生を可能とする人材を養成することを目的とする。
理工学域	基礎科学と工学の先進的な研究を通して理工学の高度な専門知識を育み、高い倫理性と豊かな教養を備え、課題探求能力と国際感覚をもって自然環境と調和のとれた科学と技術の発展を目指し、人類の幸福のため世界で活躍する個性輝く人材を養成することを目的とする。
数物科学類	現代の科学技術を根底で支えている数学、物理学及び計算科学の教育を通じて、物事に対する根源的な理解と、それを具体的な対象に対して応用し発展させる能力を育み、それによって今日の科学と社会の発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。
物質化学類	基礎化学及び応用化学に関する幅広い知識を体系的に身に付け、化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学、科学技術及び文化の発展と充実に貢献することができる人材を養成することを目的とする。
機械工学類	工学の基礎となる数学・物理学を重視しつつ、機械工学の基幹分野はもとより情報利用技術、コミュニケーション能力についての教育を行い、高度化、精密化、知能化、学際化するものづくりに対して、自然環境や人間社会との調和を図りながら工業・産業の広い分野で活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。
電子情報学類	電気・電子・通信・情報・生命情報分野の基礎から応用まで

	<p>を体系的に学ぶことができる教育を行うことにより、基盤的な専門知識及び専門技術を修得し、最先端の技術開発を担い、社会の持続的な発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。</p>
環境デザイン学類	<p>基礎知識と専門知識を身に付け、自然と調和した国土の創造、持続的発展の可能な都市システムや安全・安心な社会基盤の整備の重要性と責任を自覚するとともに、地域における歴史、文化など人文・社会系の分野にも精通し、まちづくりから地球環境全体までの「環境デザイン」ができる人材を養成することを目的とする。</p>
自然システム学類	<p>生物・人間・物質・地球で形成されるシステムを自然システムとして捉え、理学・工学両面から柔軟に思考できる能力を身につける教育を行い、広い視野に立って生物学、生物工学、物質工学、環境科学及び地球科学の観点からこのシステムの基本を追求する研究者並びにその成果を人々の豊かな生活の実現に応用できる技術者及び教育者を養成することを目的とする。</p>
医薬保健学域	<p>高齢化・少子化や疾病構造の変化を背景に、日常生活の質[Quality of Life(QOL)]を重視した患者本位の全人的医療の提供のため、関連する医学、保健学及び薬学の分野が相互に協力して、統合的な医療教育を行い、人間性を重視し、総合的な能力を有する高度医療人及び研究者を養成することを目的とする。</p>
医学類	<p>早期体験実習(アーリー・エクスポージャー)、基礎配属での医学研究体験、コア・カリキュラム対応統合型教育、小人数チュートリアル教育、地域医療臨床実習及び診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)などを実施するとともに、全国共用試験 Computer—based Test(CBT)や客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination; OSCE)で臨床前教育の充実を図り、幅広い教養、豊かな感性、人間への深い洞察力及び問題解決・コミュニケーション能力を備え、全人的医療ができる能力を身につける教育を行い、人間性を重視し、かつ高度で総合的な能力を有する医療人・医学者を養成することを目的とする。</p>
薬学類	<p>薬学における基礎的及び専門的な知識・技術の修得はもとより、薬学が人間の生命に関わる学問であることを踏まえ、豊かな人間性と高い倫理観を兼ね備えた高度な専門職業人としての薬剤師を養成するとともに、次の世代の医療薬学教育研究者を養成することを目的とする。また、医療人としての倫理</p>

	<p>観を養い、医療の専門家としての健康と疾病に関わる基礎知識を修得するとともに、臨床現場における実践的な技能と態度、また薬物治療に起因する問題を同定・評価して解決する能力を身につけさせることを教育研究上の目的とする。</p>
創薬科学類	<p>人類の健康増進や医薬品の創製につながる先端的な基礎研究・応用研究分野で活躍する研究者、知的集約産業である製薬企業等において創薬研究開発・医療情報提供に携わる者、また国公立行政機関において衛生行政等に携わる者など、多様な人材の養成を目的とする。また、基礎薬学、創薬科学、生命科学等の各分野における基礎的知識・技術を修得した上で、課題探求・問題解決能力、考察力など必要なスキルの基礎を身につけさせることを教育研究上の目的とする。</p>
保健学類	<p>保健学における基礎的及び専門的な知識・技術を修得し、豊かな人間性と高い倫理観を備えた高度な医療人としての看護師・保健師・助産師・診療放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士を養成するとともに、保健学の発展を担う教育研究者を養成する。また、医療人としての社会的使命感を涵養し、現代社会及び将来の保健・医療・福祉における諸課題を探求し解決できるような、総合的で学際的な保健学の能力を身につけさせることを教育研究上の目的とする。</p>